

# 令和3年度 三原市立須波小学校道徳教育成果と課題

- 1 道徳教育推進拠点地域事業の取り組み
- 2 本校の道徳科の授業について
- 3 「考え、議論する道徳」の授業を目指して
- 4 カリキュラム・マネジメントの取り組み
- 5 その他の取り組み
- 6 今後の取り組み



## 1 道徳教育推進拠点地域事業の取り組み

### 本年度 重点内容項目

- A 主として自分自身に関すること  
希望と勇気, 努力と強い意志  
(中学校: 希望と勇気, 克己と強い意志)
- B 主として人との関わりに関すること  
相互理解, 寛容
- C 主として集団や社会との関わりに関すること  
勤労, 公共の精神  
(中学校: 社会参画, 公共の精神)



## 研究主題

今を, 未来をよりよく生きる力の育成

～「考え、議論する道徳」の授業とカリキュラム・マネジメントを通して～

## 2 本校の道徳科の授業について

「考え、議論する」活動の充実に向けて

- (1) 主題・教材解釈シートの活用
- (2) 45 分間の授業の組み立て
- (3) 実践例

### (1) 主題・教材解釈シートの活用

データ

三原市 全教職員共有  
→「道徳 主題・教材解釈シート」  
に入れています。

道徳 研修資料 「主題解釈と教材解釈から発問を考えよう」			
本日の主題 《やりぬくために》		【 A・B・C・D 】 (○で囲む)	
A: 主として自分自身に関すること		B: 主として人との関わりに関すること	
C: 主として集団や社会との関わりに関すること		D: 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	
【1】主題解釈 : この主題を学ぶ意義を捉えよう			
①この主題の大切さは？(価値理解) (なぜ大切なのでしょう？)		②この主題の難しさは？ (人間理解:弱さの部分) (いつでもできますか？ 誰に対してもできますか？)	
ア自分なりに考えて	イ他の先生方と話して	ア自分なりに考えて	イ他の先生方と話して
自分の目標を達成するためには、努力することも必要。 人生は、うまくいくことや楽しいことばかりではない。うまくいかないとき、つらいときに乗り越えることで人は成長できる。	新しいことに挑戦するときには勇気が必要。 努力することは自分の成長につながる。	目標を達成するために努力するのが面倒に感じることもある。 うまくいかないとき、つらいときは、乗り越えようとする気持ちが起きにくい。逃げ出してしまいたくなる。	勇気を出すことが難しい児童もいる。 努力が必ずしも結果につながるわけではない。
③難しさを越えて大切にしたいのはなぜ？ (それでもなおの大切さは？) (人間理解:弱さを越えてよりよく生きようとする強さの部分・新たな気づきとしての価値理解)		④学習指導要領にはどのように？	
ア自分なりに考えて	イ他の先生方と話して	(1)内容項目の概要には	(2)指導の要点には
努力は面倒で、つらいときは逃げ出したくなるが、努力をせず逃げてばかりでは、自己実現できない。世の中が成り立たない。 目標に向かって努力することで、自分自身が自己実現でき、そういう人たちの集団がよりよい社会を形成していく。	努力することは生活の中で大切なこと 自分を成長させることができる。	一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分を高めようとする意欲をもつことが大切。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。	あきらめずに粘り強くやり抜く強い意志が必要であること、苦しくて途中であきらめてしまふ人間の弱さ、今よりよくなりたいといふ願い努力しようとする姿について考えを深めていく。目標を実現するためには、自分自身の努力だけでなく、家族や教師など、周りの人の励ましや賞賛があることに気付き、ねばり強く努力する態度を育てることが大切である。

これは本校に今年度講師として指導いただいている、広島大学の宮里智恵(みやさと ともえ)先生からいただいた「主題・教材解釈シート」です。上(1枚目)は教材の主題に対して、指導者の思いや指導要領の内容を確認するシートです。教材文の内容にとらわれず主題にしっかりと向き合って考えます。下のシート(2枚目)は、教材に関わる考えを書き込むシートです。本時の価値の「大切さ」だけでなく人間としてそれを実行することの「難しさ」や人としての「弱さ」についても考えをまとめていきます。このシートを作成することで、指導者として何をねらいとしてこの教材を使うのかが明確になります。第四中学校でも活用しています。

## (2) 45分間の授業の組み立て

- ① 導入場面は 5分以内で
- ② 教材での発問は2～3問にしぼる
- ③ 友達の発言を書きとめる
- ④ まとめは、子どものことばで
- ⑤ 「今日の振り返り」の時間の確保

### ① 導入場面について

導入場面は時間をかけないようにしています。発問は、主題に関わる内容や、アンケート調査の結果の提示などです。マイナスの体験を発表させることは児童の学習意欲を高める効果的な導入ではないと考え、児童が楽しめる、わくわくする導入を心がけています。テンポよく進めることも気を付けています。

### ② 発問の数の精選

教材文での発問の数を2～3問にしぼり、範読後にあらすじを追う発問や、登場人物の心情を問うばかりの発問は減らすようにしています。そして、後半の主題に関わって考える時間を確保します。



### ③ 友達の意見からの学びの時間を取り入れる

下記のワークシートは、第四中学校の授業で活用したものです。第四中学校でアレンジし、友達の意見を書き込めるようにしています。中学校の担任の先生が授業しながら「友達の意見は宝物。」と生徒に声をかけたところから、友達の意見を書き留めておく活動を取り入れることにしました。

小学校では、友達の意見を書く際、「『まる友』を書きましょう。」と声をかけるようになりました。黒板の友達の考えを全て書き写すのではなく、「自分にはない考えだ。」「この思いはすごいなあ。」と思った言葉を「まる友」として書き留めるように指導しています。



○第四中学校 アレンジしたワークシート

月 日	30 命と向き合う	3年 組 番
		名前
<b>考えよう</b>		
命の尊さについて、考えよう。		
1 グループで、「なぜ命は大切なのか」について、話し合おう。		
<あなたの考え>  <グループで話し合ったときに、いいなと思った友達の考え>		
2 生き物の3つの特徴 <sup>とくちょう</sup> を確かめたうえで、グループで、もう一度「なぜ命は大切なのか」、そして「命を大切にするには、どうすればよいのか」について、話し合おう。		
<あなたの考え>  <div style="text-align: center;">                     他人の意見   </div>		
3 「命のある間を思いきり生き」とは、どういうことだろう。		
<あなたの考え>  <div style="text-align: center;">                     他人の意見   </div>		

○第6学年 友達の意見も書き残した道徳ノート

お母さんにたのまれたお使いを  
サッカーやらお買い物に行けばよかった  
中学生がこっちを見ているのを分っ  
ているなら他の所で行けばよかった。  
にければよかった。もってないしとるえ  
は木村だ。寄り道しない。大声を出さない  
かいつか かわいさ  
。反論。気付いた時点で逃げる。やっつける  
。大人がいるところに逃げる。  
今日はまあいいから、明日はいいから、明日はいいから、明日はいいから。

今日の出来事はこうだった  
しつかり  
考えた


このようにことが起こらないためには、  
どう考えて行動すればよかったの  
でしょう。

- 寄り道しない。
- 反論する。
- 気付いた時点で逃げる
- 防犯カメラを覗きまわす  
一人ではなぐそをい

今日、自分がお金を持ち、いというときも大声と言  
うま、自分に金を持って、いというときも大声と言  
うま、自分に金を持って、いというときも大声と言

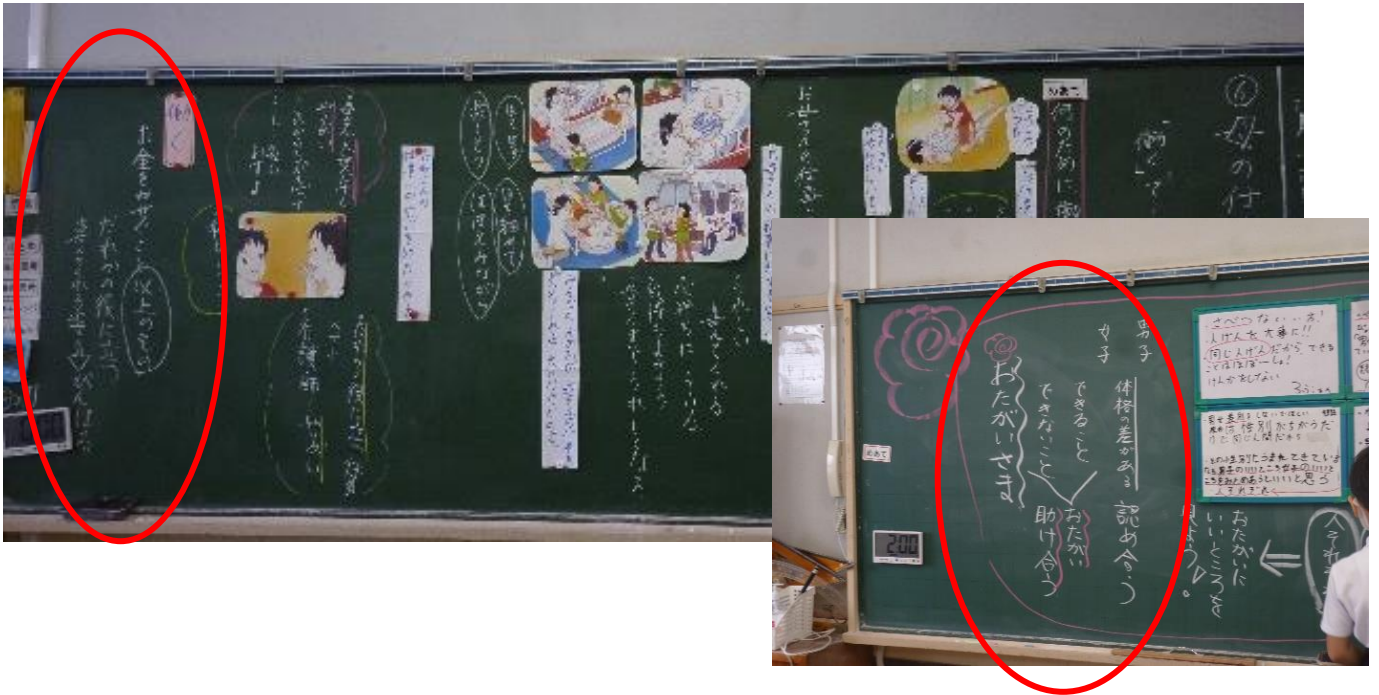
今日の出来事はこうだった  
しつかり  
考えた

**28**  
自分を守る力って？



④ まとめについて

児童の発言でまとめるようにしています。



⑤ 「今日の振り返り」を書かすための時間の確保

45分間の授業の中で、自分は何を学んだのか、どんな気づきがあったのかを書くことで自己の内面と対話させます。また、友達の振り返りを聞くことで、自分にはない視点での気づきや学びを知ります。小学校では授業終了8分前には書く活動に入るよう心がけています。中学校では、授業終了10分前には振り返りの活動「学びの記録」を書く活動に入るよう心がけています。

- 振り返りを書こう**
- ① 今日学んだ事について
  - ② 今までの自分の生活を振り返って
  - ③ これからの自分の生き方について

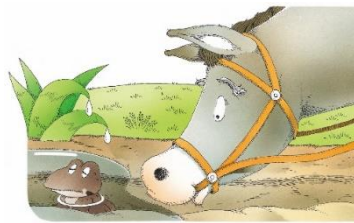
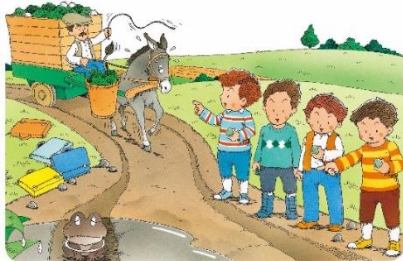
○第6学年の振り返り 「人間をつくる道—剣道—」(B 礼儀)

○今回の授業を通して、礼には一つ一つ意味があり、全てのものに感謝していることが分かりました。私は少し雑になっていたのですが、これからは小さなことでも感謝をこめて礼をしようと思います。

○私は今までの生活を振り返って、初めは礼なんかどうでもいいと思っていたけれど、今日改めて勉強して、礼には人・物・場所に感謝することだと知ったので、これから気持ちをこめて礼をします。

### 3 「考え、議論する道徳」の授業を目指して(取組の具体例)

○第4学年 「ヒキガエルとロバ」(D 生命の尊さ)



- 第4学年「ヒキガエルとロバ」の内容項目は「D 生命の尊さ」、主題は「全ての命を大切に」です。主題の「全ての命を大切にすること」が大事だということは、誰でも分かっていることです。この教材を学習した後、「(教材文に出てくる)ヒキガエルとロバだけでなく、全ての命を大切にすることが大事だと分かりました。」という児童の反応では、終わらせたくないと思いました。「全ての命を大切にすることはどうすることだろう。」という指導者として自問自答が続きました。そこで授業では、T2「『命を大切にしよう』と言うけれど、先生は蚊が来たらたたくよ。ハチが来たら殺虫剤ふくよ。豚肉や鳥肉も食べるよ。」「みんなはどう思う。」と発問し、グループでの話し合いをもちました。児童からは、「むやみに殺したりしてはいけませんが、自分たちの健康や命が危ないと思う時は、仕方がない。」「人間が健康に過ごすためには、蚊やハチのような虫を殺したり、生きるために動物や植物の命をもらうこともある。人間は大事な命をもらって生きている。」「給食を食べる前に『いただきます』をするでしょう。それは、命があるものに『感謝して、いただきます』という意味だと思う。」などの考えが出てきました。

○第5学年 「ヘレンと共にーアニー・サリバンー」(A 希望と勇気、努力と強い意志)



- 第5学年「ヘレンと共にーアニー・サリバンー」。内容項目は「A 希望と勇気、努力と強い意志」、「困難にまけない心」です。ヘレンに、物には名前があることに気づかせたアニーの気持ちを考えることを通して、「目標や信念を持ち、困難を乗り越えようとする心情を育てる。」ことがねらいです。ヘレンが「water」という文字から、物には名前があることに気づいた時のアニーはどんな思いだったでしょう。」と発問しました。児童からは、「やっと覚えてくれた。」「今まで頑張ってきてよ

かった。」等、これまで続けてきたことへの喜びや「前よりもっと頑張ろう。」「これからももっと勉強しよう。」等、今後へ向けての思いなどができました。

「どんな事にもあきらめずに努力することは大事なことだと分かっているけれど…。何でもどんな時にも頑張れるだろうか…。」と考え、T2「先生の息子は、小学生の時、『しっかりと勉強頑張り』と言ってもあまり頑張っていなかったなあ。でも小さい頃からずっと続けていた水泳は、大会で負けたりしたら悔しくて『もっと練習時間を増やしたい。』と自分から頼んできたね。同じ一人の人間なのに…何が違うのかなあ。」と問いかけ、グループで話し合わせました。「自分が好きな事や、自分からやろうと決めた事は頑張れる。」「親に『やらされる』とかは頑張り続けられない。」等の考えが出ました。「目標に向かって努力を続けるためにも、自分から『やろう』『頑張ろう』という気持ちをもつことが大事なんだね。」と児童のことばでまとめることができました。

## 4 カリキュラム・マネジメントの取り組み

### 道徳科学習プログラムの作成

本校では、道徳科の学習を中心に、「道徳科学習プログラム」を作成しています。この取り組みは、広島県の道徳教育研修ハンドブックを参考にしております。

プログラムのめあてを設定し、児童の意識の流れを考え計画しました。各教科領域・体験活動や家庭とのつながりを考え、作成しています。

道徳科学習プログラムは、ホームページの「単元開発」に掲載しております。

## 5 その他の取り組み

- (1) 役割演技，動作化，身体で表現させる
- (2) ICT 機器の活用
- (3) 小中連携

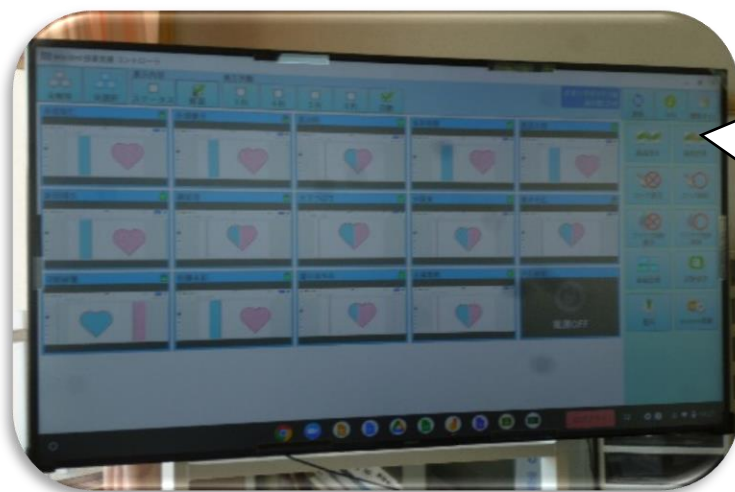
### (1) 役割演技，動作化，身体で表現させる

○ 1点目は、「役割演技や動作化を取り入れ、心情を考えさせる」「主人公や登場人物の気持ちの変化を体で表現させる」などの活動です。特に低学年では、登場人物の心情を深く理解することに有効だと考えています。動作化や役割演技を行う際、ペープサートを利用したり、その人物のワッペンをつけたりすることで、より登場人物の心情に共感できると考えています。



## (2) ICT 機器の活用

○「ハートの物差し」を クロームブックで

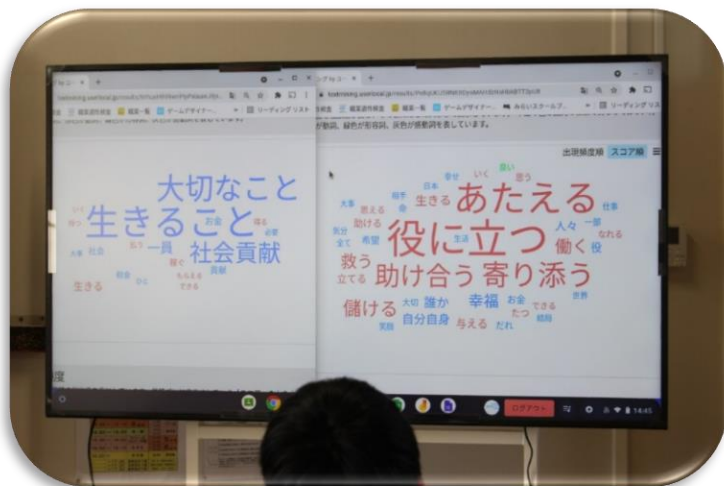


### データ

共有ドライブ→三原市全職員  
共有→01 教科→小学校→11  
特別の教科 道徳→「心情メ  
ーター」に入れています。

○ これは、本市の ICT 支援員の方のご支援ご協力のもと、作成した「心情メーター」です。ジャムボードで、指で触るだけで操作できます。テレビ画面にクラス全員の「ハートの物差し」が提示され、お互いの考えを共有し合えます。

○AI テキストマイニングを使って



○これは、AI テキストマイニングを活用した場面です。上の写真の左の画面は、導入場面で、あらかじめ生徒に主題についての思いを入力させておいたものです。授業の終末時に本時の学びから、再度考えさせたものが右の画面です。自分たちの思考を比較することができます。

多くの児童・生徒が入力した言葉が大きく太く表示されるため、多数の考えが一目で分かり易いです。また、普段発表が苦手な児童・生徒も自分の考えを伝えることができます。





## 6 今後の取り組み

- (1) 他教科他領域との連携をより強くし、実践へ
- (2) ゲストティーチャーの招聘
- (3) ICT 機器を活用した授業づくり

○今後、以下の3点を中心に取り組みを進めていきたいと思ひます。

### (1) より実践へ向けたカリキュラム・マネジメントの取組

45分間の授業で終わるのではなく、45分間の授業から実践へと、児童の意識が向く取組を進めていきたいと思ひます。

### (2) ゲストティーチャーの招聘

今年度は取組みができませんでしたが、ウェブでの参加などで地域の方や先輩として中学生と交流ができる授業展開などを考えていきたいと思ひます。

### (3) ICT 機器を活用した授業づくり

「どこで」「目的 何のために」を明確にした ICT 機器の活用をさらに進めていきたいと思ひます。

○終わりに

昼休憩に小学校の階段を掃除している1年生の女の子が2~3人いました。話を聞くと、「だってね、道徳で「あとかたづけ」の勉強をして、みんなが使うところがきれいになったら気持ちがいいかなあと思ったの…」と教えてくれました。同じく1年生の国語科の単元「好きな教科はなあに」の学習では、「好きな教科 道徳」「わけ 心の勉強は、大切なことも知ることができるし、今まで分からなかったことも分かります。」と道徳科への思いを書いた児童がいました。道徳の学習を通して、毎日が充実した日々になってほしいものです。

本校の道徳教育の研究はまだ始まったばかりですが、今後も、私たち須波小学校・第四中学校全教職員で、「今を、未来をよりよく生きる」力を子どもたちにつけていく取組を進めていきたいと思ひます。

